

今知りたい♪活動するのに必要なお金と力を集める話

令和3年2月28日(日) 午後2時～午後3時30分

弘前市民文化交流館ホール 参加者22名

◎第1部

クラウドファンディング利用イベント「冬に咲くさくらライトアップ」

冬に咲くさくらライトアップ実行委員会代表 米山 竜一 氏

2017年の冬から、弘前公園の外堀で行われている「冬に咲くさくらライトアップ」は、夜の真っ暗な外濠の一角、ピンク色の街灯がうっすら照らす場所があり、「さくらの枝に雪が乗った＝冬に咲くさくら」を撮影できたことがきっかけで始められたそうです。インターネットを活用して活動資金を集める「クラウドファンディング」は、支援者と達成感を共有できるメリットがあり、「気持ちを集めるシステム」と米山氏は考えます。今回は目標額の50万円を大きく上回り、過去最高額の約107万円が集まりました。「これだけ多くの気持ちをいただいたのなら、必ずやり遂げないと！」と気が引き締まったそうです。米山氏の経験談を交えながら、クラウドファンディングの仕組みやポイントを詳しくご説明いただきました。

◎第2部

新しいボランティア「プロボノ」について～青森プロボノプロジェクト～

青森県環境生活部県民生活文化課

「プロボノ」とは、仕事で培った知識、経験等をボランティアとして提供し、社会課題の解決に成果をもたらすことを意味します。2018年度から実施している「青森プロボノプロジェクト」では、「外部の力を借りて活動を発展させたいNPO・地域団体＝支援される側」と、「経験や知識を生かして社会と関わりたいプロボノワーカー＝支援する側」の双方が最も効果的に連携できるよう、目標を明確に設定し、具体的かつ実用性の高い成果物を提供する「プロジェクト型支援」を行っています。これまでの事例として、パンフレット・ホームページ・インスタグラムの作成、業務改善や事業戦略の提案等を県内の団体が受けて活動を活性化させた様子をご紹介いただきました。

参加者の感想から

- ◎ 「クラウドファンディング」や「プロボノ」で自分は何ができるかなと考えました。
- ◎ 社会貢献をするにはある程度の活動資金が必要であることを再認識しました。
- ◎ これからボランティア活動に積極的に参加していこうと思っています。

